

■平成7年11月10日発行

選手の皆さん がんばってね!



ふくしま国体に出場する選手の第一陣到着式が10月12日、石川駅前で行われ、第二保育所の子供たちから愛媛県チームに花束とマスコットのキビタン人形が贈られました。

主な内容

- ▲特集、第50回ふくしま国体……………2～3P
- ▲平成6年度の財政公表……………4～6P
- ▲頑張るぞ! ふくしま駅伝……………7P
- ▲町のわだい……………8～9P
- ▲みんなの広場……………10～11P
- ▲お知らせコーナー……………11～14P

町民・選手・役員が一体となつた秋季国体

「友よ ほんとうの空にとべ」をスローガンとした、第50回国民体育大会・ふくしま国体の秋季大会が、十月十四日から十九日までの六日間、県内三十五市町村で開催され、福島県が念願の天皇杯（男女総合優勝）と皇后杯（女子総合優勝）を手中に収めました。石川町では、十五日から十九日までの五日間、石川町総合運動公園（クリスタルパーク・石川）で、ハンドボール競技の少年男子・女子と成年男子二部の三種別が行われ、少年女子と成年男子二部で初優勝、少年男子でも過去最高の三位入賞を果たしました。会場には、連日たくさんの観客が訪れ、スピード感にあふれる好プレーに大きな拍手と歓声がわき上がっていました。

福島県チームが

2種別制覇の大活躍

大会には、少年男子・女子、成年男子二部の三種別に福島県チームをはじめ、予選を勝ち抜いた四十八チームが参加。優勝めざして五日間の熱戦が繰り広げられました。

試合では、学法石川高校を中心とした少年男子が準決勝で、優勝した神奈川県チームに26対20で敗れてしまいましたが、三位に入賞。少年女子は、高田宮同妃両殿下がご覧になられた決勝戦で、茨城県チームを16対11で破り、念願の初優勝を飾りました。また、学石OBを中心とした成年男子二部は、決勝戦で富山県チームを30対21で破り、熱戦のフィナーレを飾りました。

会場には、連日たくさんの観客が訪れ、鍛えられた選手が繰り広げるスピードと迫力あるプレーに、大きな歓声と拍手が送られていました。みんなのでくりあげた国体の様子を写真で紹介しします。



▲石川町総合体育館で行われた開始式



▲盛大な町民の歓迎にこたえる高円宮同妃両殿下



▲大会の華、式典コンパニオンと式典アナウンサー



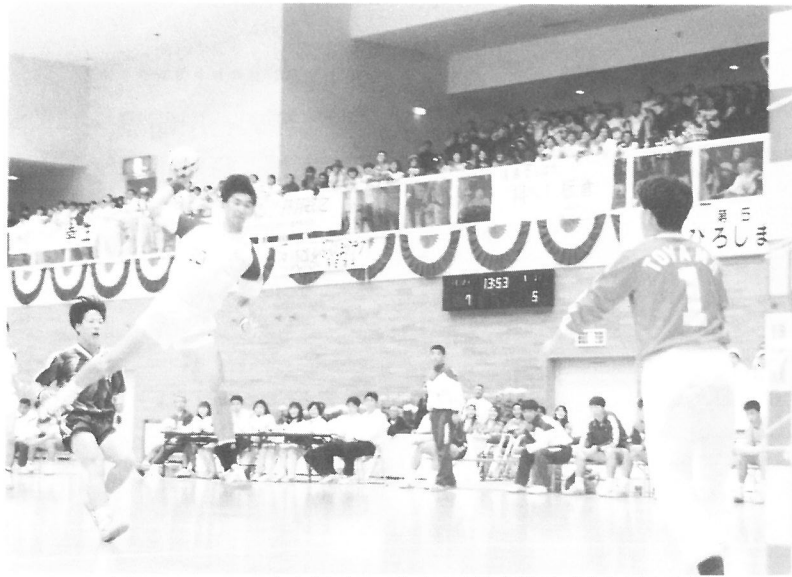
▲声援を受けて走る大会旗炬火リレー隊



▲集団演技で元気に踊る子供たち



▲華麗な演奏を披露した鼓隊



▲豪快なシュートで富山県ゴールを攻める遠藤選手（成年男子2部）



清掃活動をする
町民協力員の皆さん



▲決勝戦で茨城選抜を圧勝した少年女子



▲バンザイ！初優勝だ～



選手のユニホームの洗濯を
受け持つ女子高生



優勝が決まった瞬間は、頭
の中が真っ白になりました。
優勝できたのは、選手12名が
一丸となって、厳しい練習に
ついてきてくれたからです。
決勝戦では「勝てば良い、
もつと動いて楽しめ」とだけ
指示しました。

青年男子2部
ふくしまクラブ
有松正人監督
(石川町役場)



選手は、私が思っていた以
上に良くやってくれました。
一回戦突破をめざしていたの
で、三位入賞は上出来です。
選手とは、大人になったら
みんなで酒を飲みたい。
皆さんの応援がとても心強
かったです。

少年男子
福島選抜
小針三夫監督
(学法石川高校)



▲大声援を受けて相手ゴールを攻める福島少年男子



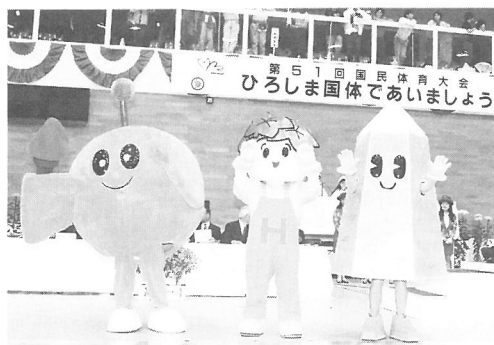
「みなさんのご協力に感謝します」
と歓送の言葉を述べる鈴木町長

第50回「ふくしま国体」ハンド
ボール競技会は、町民の皆さんの
ご協力によりまして、成功のうち
に幕を閉じることができました。
全国各地から出場した、多くの
選手や関係者の皆さんは、石川町
を舞台にすばらしい試合を展開し、
私たちに熱い感動と興奮を与えて
くれました。
連日早朝から、本大会を支えて
くださいました多くの関係者の皆

皆さんのご協力ありがとうございました



▲選手の皆さんに大好評の「トン汁」



▲ひろしま国体のマスコット「咲ちゃん」を囲んで

さん、本当にご苦勞さまでした。
また、ボランティアで参加されま
した皆さんの温かい心は、石川町
を訪れた選手や役員の皆さんに必
ずや伝わっていることと思います。
ご協力ありがとうございました。



▲石川町の味覚を味わう選手の皆さん

総額

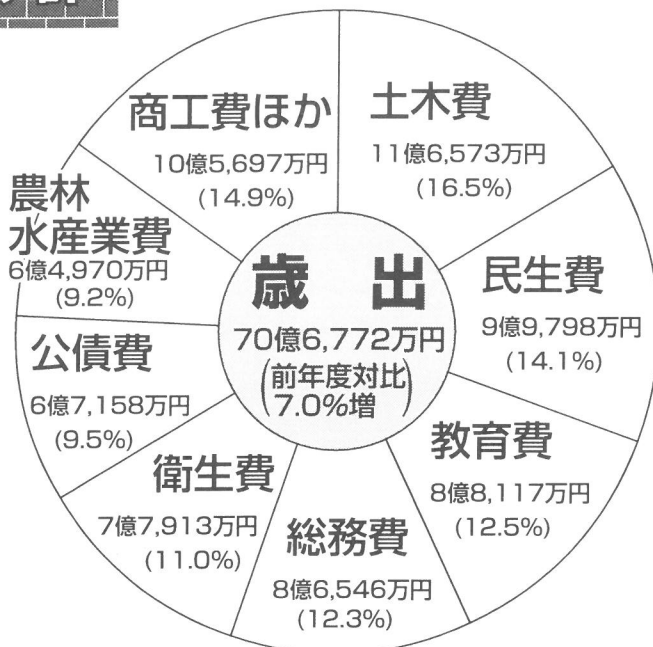
97億円の使いみち

町民サービスには1人当たり
340,154円が使われました

平成6年度の石川町歳入歳出決算が、9月定例町議会において認定されましたので、決算の主な内容についてお知らせいたします。

会計

() 内は構成比



歳出決算総額は

97億7,194万円

平成6年度の予算執行にあたっては、第3次総合計画（新たな時代の予感に心ときめく「人間尊重都市・石川」）を基本に、活力と魅力あるまちづくりを進め、各種事業の推進を図ってきました。

一般会計の歳入総額は、71億7,001万円。歳出総額は、70億6,772万円で、差し引き残額は1億229万円となり、うち翌年度に繰り越すべき財源5,373万円を除いて4,856万円を平成7年度一般会計へ繰り越しました。

また、特別会計及び水道事業会計を含めた歳出決算額は、総額で97億7,194万円となりました。

＝町民1人に使われたお金＝

町税の負担と町民サービス	土木費	民生費
▶町税は、 町民1人当たり 79,927円 1世帯当たり 302,501円 となりました。 ▶町民サービスには、 町民1人当たり 340,154円 1世帯当たり 1,287,381円 が使われたことになります。	 56,104円	 48,031円
教育費	総務費	衛生費
 42,409円	 41,653円	 37,498円
公債費	農林水産業費	商工費ほか
 32,322円	 31,268円	 50,869円

一般会計歳出決算は

70億6,772万円

平成6年度の一般会計歳入決算額は、71億7,001万円で前年度と比較して5億1,956万円(7.8%)の伸びとなりました。その主な内容は、農村総合整備モデル事業費などの補助金が増えたことにより県支出金が14・8%の増、また、町債は地域総合整備資金貸付事業債、減税補てん債などを借り入れたことにより121・8%

増と大きな伸びを示しましたが、個人町民税の特別減税などにより町税が5・3%の減、災害復旧補助金などの減により国庫支出金が23・1%の減になりました。歳出決算額は70億6,772万円で前年度と比較して4億6,160万円(7.0%)の増額となりました。その主な内容は、衛生費が老人保健特別会計繰出金などの増



(集団演技を披露する子供たち)

▲一人ひとりが力を合わせて、豊かな石川町をつくりましょうね!

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	14億1,835万円	12億5,081万円
老人保健	12億6,222万円	12億1,116万円
母畑財産区	685万円	45万円
中谷財産区	678万円	49万円
石川地方町村心身障害児就学指導審議会	45万円	24万円
土地開発事業	4,137万円	603万円
工業団地造成事業	1,161万円	43万円
鳥内工業団地給水事業	372万円	259万円

水道事業会計

収入的収支	収入	営業収益	2億3,729万円
		営業外収益	613万円
		特別収益	8万円
		計	2億4,350万円
	支出	営業費用	1億8,556万円
		営業外費用	4,632万円
		特別損失	14万円
		計	2億3,202万円
資本的収支	収入	建設負担金	521万円
		計	521万円
	支出	建設改良費	2,483万円
		企業債償還金	2,258万円
		計	4,741万円

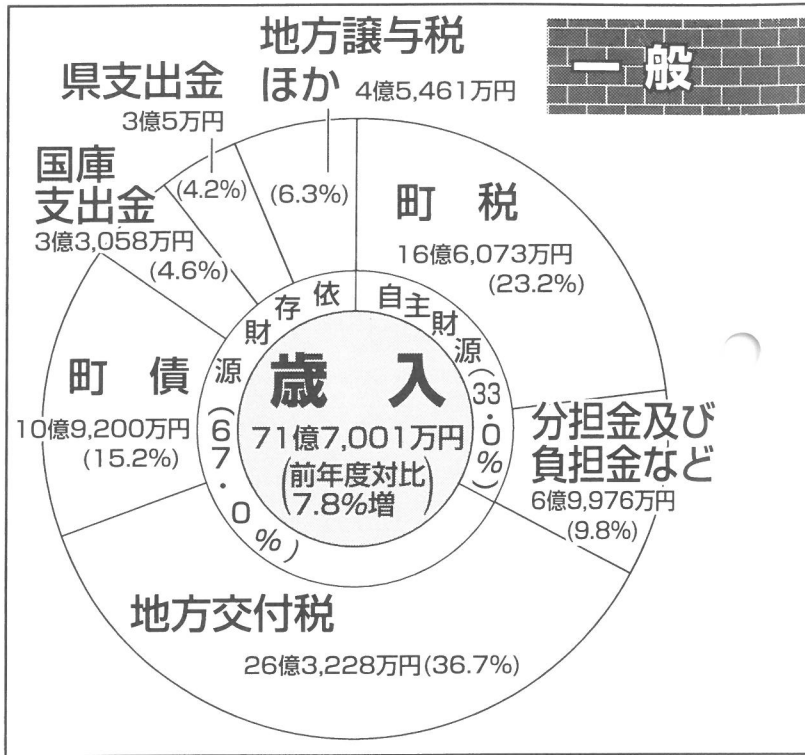
*資本的収支で不足する4,220万円は、当年度損益勘定留保資金等で補てんしました。

平成6年度決算

町の“家計簿”

町民1人当たり納めた税金は

79,927円



により10・6%の増、商工費は地域総合整備資金貸付金などにより269・6%の増、教育費は国民体育大会リハーサル大会開催経費などにより11・6%増となった一方、民生費は特別養護老人ホームが完成したことなどにより5・7%の減、土木費は緊急地方道路整備事業が繰越事業になったことなどにより8・7%の減となりました。

また、歳出決算額の性質別の構成比は、人件費、補助費等などの消費的経費の占める割合は54・0%、普通建設事業などの投資的経費は25・1%、公債費、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金のその他の経費は20・9%となりました。

一般会計性質別歳出の状況

消費的経費	投資的経費	その他
38億1,718万円 (54.0%)	17億7,665万円 (25.1%)	14億7,389万円 (20.9%)
人件費 17億3,298万円	普通建設事業費 16億8,148万円	公債費 6億7,138万円
補助費等 9億7,380万円	災害復旧事業費 9,517万円	積立金 1億3,430万円
物件費 7億3,004万円		その他 6億6,821万円
扶助費 3億4,813万円		
維持補修費 3,223万円		

平成6年度の主な事業

1.歴史が息づくのびやかな人と文化のまちづくり 3億6,387万円

区 分	決算額	施策の概要
(1)明日を拓く のびやかな 人づくり	3億 1,768万円	小・中学校教育振興費 野木沢小屋内運動場用地造成事業 小学校教育用コンピューター導入事業 国民体育大会推進費など
(2)歴史が息づく 文化づくり	4,619万円	国際交流事業 芸術文化振興費 鉱物収集調査費 自由民権史跡及び遺跡調査事業など



(小学校にコンピューターを導入)



(商店街街路灯設置事業)

2.活気あるたくましい交流のまちづくり

15億1,767万円

区 分	決算額	施策の概要
(1)ふれあいと活力を 高める基盤づくり	8億 5,082万円	町道改良舗装事業 広域農道整備事業負担金など
(2)時代変化に たくましい 産業づくり	6億 6,685万円	農村総合整備モデル事業 優良基礎牛貸付事業 松くい虫防除事業 商店街街路灯設置事業 中小企業育成補助金 中小企業経営合理化資金原資貸付金 地域総合整備資金貸付事業など

3.健やかで生き生きとした長寿福祉のまちづくり 28億5,095万円

区 分	決算額	施策の概要
(1)生涯を通じた 健康づくり	1億 1,212万円	保健婦活動事業 老人保健推進事業 重度心身障害者医療給付など
(2)心のかよう 福祉のまちづくり	27億 3,883万円	緊急通報システム運営事業 老人、障害者福祉対策事業 家庭奉仕員派遣事業 老人ディサービス事業 リフト付バス購入費 児童手当給付 国民健康保険・老人保健医療給付など



(よい子ピカピカ教室)

4.自然が彩る美しく快適なまちづくり

11億8,601万円

区 分	決算額	施策の概要
(1)質の高い快適な 住環境づくり	9億 1,743万円	総合運動公園整備事業 石川地方生活環境施設組合負担金 公営住宅敷地造成事業 合併処理浄化槽設置整備事業 不燃物収集事業 地方バス路線運行維持対策事業など
(2)安全な生活づくり	2億 6,858万円	須賀川地方広域消防組合負担金 消防設備整備事業 準用河川改修事業など

5.町民総参加によるまちづくり

1億1,100万円

区 分	決算額	施策の概要
(1)町民総参加による まちづくり	1億 1,100万円	役場庁舎建設基金積立金 広報無線設備整備事業 広報いしかわ発行経費など



(完成したクリスタル広場)

優勝めざして がんばるぞ!

第7回ふくしま駅伝

とき：11月19日(日)



白河総合運動公園8時スタート



頑張れ！石川町選手団 (敬称略)

選 手	首藤 未来	石川 中	学校 2	年
	佐藤 幸江	石川 中	学校 3	年
	三森 豊	石川 中	学校 3	年
	水野 雄	石川 中	学校 3	年
	菊池 正造	石川 中	学校 3	年
	矢内 剛	石川 中	学校 3	年
	小針 孝行	石川 中	学校 3	年
	川島 久子	石川 中	学校 3	年
	近内 春彦	石川 中	学校 3	年
	太楽 美穂	石川 中	学校 3	年
	三瓶 誠	石川 中	学校 3	年
	角田 博満	石川 中	学校 3	年
	村越 紀之	石川 中	学校 3	年
	矢内 美智子	石川 中	学校 3	年
	佐藤 忍	石川 中	学校 3	年
	酒井 俊幸	石川 中	学校 3	年
	角田 幸司	石川 中	学校 3	年
	鈴木 光一	石川 中	学校 3	年
	畠山 和佳	石川 中	学校 3	年
	塩田 繁	石川 中	学校 3	年
役 員	実行委員長	松岡 六郎	山崎 重春	岡崎 美夫
	副委員長	鈴木 宗大	鈴木 像	内 哲
	監			
	コ			
	一			
	〃			

町民の皆さんの温かい
ご声援をお願いします

県内八十八市町村が参加する、第七回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が11月19日、白河―福島間で行われます。

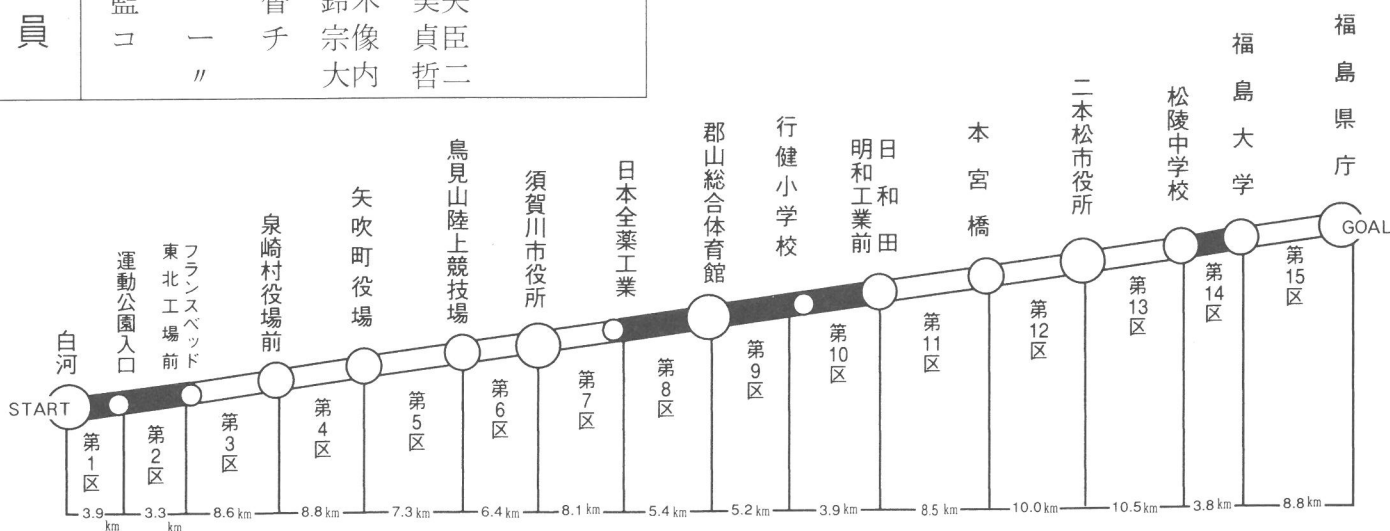
当日は、白河総合運動公園・陸上競技場を午前8時にスタートし、福島市の県庁前をゴールとする十五区間、全長一〇二・五キロで健脚が競われます。

石川町チームは、昨年総合八位（町の部四位）とすばらしい成績を収めました。さらに上位入賞をめざし、選手と役員が一丸となって、連日厳しい練習に取り組んでいます。

大会では、ゼッケン30番を付け、15人のランナーが一本のタスキをつなぎますので、町民の皆さんの温かいご声援をお願いいたします。

石川町チームの選手団は次の通りです。

石川町チームはゼッケン **30** 番を付け、
チーム一丸となって
1本のタスキをつなぎます。





▲歓迎会で習字に挑戦するオーストラリアの子供たち

オーストラリアの子供たちが

石川小で学校生活を体験

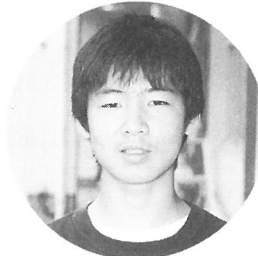
町の国際交流事業・オーストラリア研修で交流のあるレークマッコーリー市の子供たち4人が10月2日、ワリス・アンドルーズ校長に引率されて石川町を訪れ、石川小で日本の学校生活を体験しました。

訪問した子供たちは、歓迎会の中で日本語で自己紹介をした後、先生の指導で習字に挑戦したり、体育の授業でバスケットボールや給食、清掃などを一緒に体験しながら、石川小の子供たちと楽しく交流を深めていました。

また、石川小6年の添田雅訓君が、オーストラリア訪問親善大使として、11月11日から18日まで棚倉町の子供たちと一緒にオーストラリアに行くことになりました。



プレゼントが送られ
おもわずニコリ



親善大使の添田君



県中学駅伝大会で 石川中が2連覇

第38回県中学校駅伝競走大会が10月4日、郡山市で行われ、男子の部で石川中が2位に55秒の差をつけ、2連覇を達成しました。

大会には、県内から男女各32校が出場し、男子は1チーム6人のランナーが18キロの距離をタスキをつなぎ、健脚を競いました。

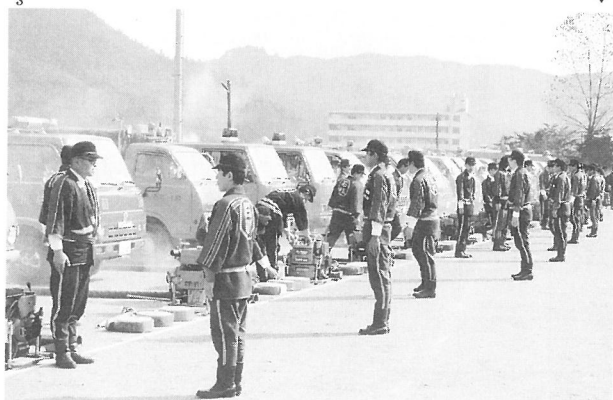
優勝した石川中は、12月16・17日の両日、熊本市で開かれる第3回全国大会に出場しますので、皆さんの応援をお願いします。

火災がおこりやすい季節です 火のもとには十分注意して

町消防団(永瀬謙助団長)の秋季検閲式が10月22日、町民グラウンドで行われました。

検閲式では、鈴木信夫町長が団員506人の通常点検と各部の機械点検を行い、火災の多い季節を迎え予防消防に全力を挙げるよう協力を呼びかけました。

石川町では今年に入り、6件の火災が発生しています。これから冬に向い、火を使う機会が多くなりますので、火のもとには十分注意してください。



シェルビー先生 体験記 パート15

アメリカの 人種問題

先日のO.J. シンプソンの殺人事件裁判の判決は、アメリカの人種問題が根底にありました。

シンプソンは、アメリカンフットボールのスーパースターでしたが、前の妻だった女性と彼女の友人の殺害容疑で告発され、100%とは言えないまでも、彼についてのアリバイは明らかでした。

私は陪審員が無罪としたとき、怒りもせず祝いもしませんでしたが、多くの人はがっかりし、怒りを感じていました。と言うのも、彼に対する無罪判決をアメリカの裁判の失敗(失態)だと考えたからです。その他の人々は、今まで黒人を正当に取り合わなかった面もあり、その意味から勝利ととらえ、大喜びしました。

どちらの見方も根拠のあるものであり、自分の故郷を日本からみるにあたって感じるのですが、アメリカ人である白人と黒人が、お互いの意見に耳を傾け、尊重し合うような関係になれば…と願います。



町のわだい

「町のわだい」はみなさんのコーナーです。身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。



青年教室生が石尊山にイルミネーションを点灯

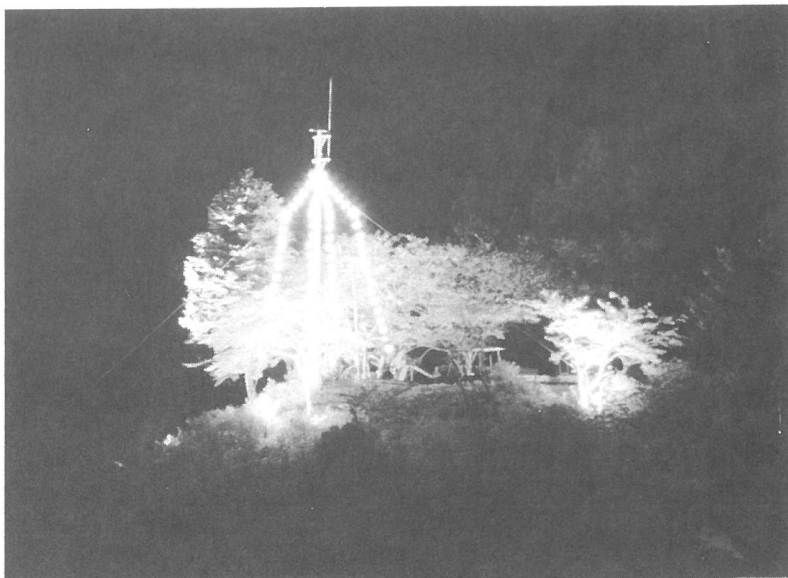
町のシンボル石尊山頂上に水晶をイメージしたイルミネーション「青年エンドレスドリーム」を東北電力の協力で設置した、中央公民館の青年教室生は10月3日、水道事業所協の親水公園で点灯式を行い完成を祝いました。

点灯式では、青年教室の鈴木征博委員長が「戦後50年・町合併40周年・ふくしま国体開催を記念して取り組んできたイルミネーションが、町民の皆さんのご協力で点灯することができました。これからもみんなで協力し

て町活性化のために、夢とロマンを抱いて頑張っていきたい」とあいさつし、鈴木信夫町長らが「これからも町づくりに若い皆さんが夢を持って取り組んでください」と祝辞を述べ、点灯スイッチが押されました。

点灯されたイルミネーションは、高さ16メートルの電柱から四方に伸ばしたワイヤー四本に電球百個とフラッシュライト10個を取り付け、さらに周囲の樹木を色鮮やかにライトアップし、幻想的な情景を映し出しており、町民の皆さんからも大変喜ばれています。

イルミネーションは11月5日まで点灯され、12月に更にパワーアップして、再び点灯される予定です。青年教室ではイルミネーションの電気料が、一日当たり約千円かかることから、募金をお願いしております。ご協力できる方は、中央公民館又は各地区公民館まで…。



▲戦後50年、町合併40周年、ふくしま国体開催を記念して点灯されたイルミネーション「青年エンドレスドリーム」



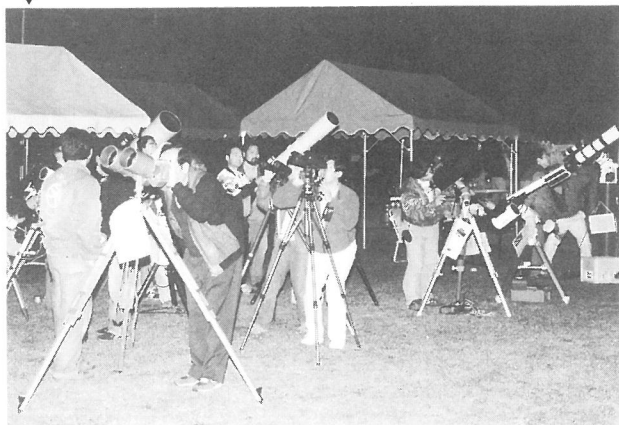
▲イルミネーションの点灯スイッチを押す関係機関の代表者の皆さん

天文ファンが大集合

～スターライトフェスティバル'95に600人～

今年で4回目を迎えた、スターライトフェスティバルが10月20日から22日までの3日間、田畑レークサイドセンターで行われました。

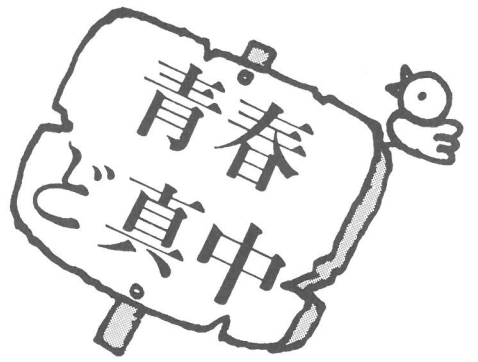
好天にも恵まれ会場には、県内外からたくさんの天文ファンが訪れ、高価な望遠鏡の展示や観望会、子ども星座教室などが行われ、ロマン漂う星座を明け方まで楽しんでいました。



手づくりコンサートで秋を満喫 ～なかだの森の音楽会'95～

なかだの森の音楽会が10月7日、中谷第二小学校体育館で行われ、350人の聴衆を魅了しました。

7回目を迎えたこの音楽会には、町内でピアノの指導を行っている佐藤みどりさん（松木下）らによるグリーンウッドトリオが出演。ススキやコスモスなどの草花が飾られたステージからは、エチュードやアレンスキーのピアノ三重奏曲アレグロなどのクラシック音楽が響き渡り、「芸術の秋」を満喫させてくれました。



大竹健次さん(25歳)
中田字十文字116

職業▽大東銀行石川支店に勤務しています。

★今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか

もちろん第一には仕事なのですが、それ以外では、最近やる機会がないのですがマウンテンバイクで野原や林道を走りたいと思っています。これから良い季節なので、景色のすばらしいところでのんびり歩きたいですね。

★将来の夢を聞かせてください

自分の手でログハウスを建ててみたいです。設計はもちろん、基礎造りから建築まで、自分好み、好き勝手に造ってみたいです。時間が経たなくても、将来必ず実現させたいです。

★町政に望むことは何ですか

私がちょっと気になっているの



▲同期の皆さんと。右から3番目が大竹さん

は、ゴミ問題に関する事なのですが、少し郊外に外れると平気で粗大ゴミや不燃物などが、投棄されている場所を目にします。紅葉で美しい山々もゴミが捨てられていてはだいたなしです。

ゴミを処理する側もされる側もつと誠意を持って対処し、声を大にして広報してもらいたいと思います。

★最後に理想の女性のタイプは

特に理想はないのですが、強いて言えば、一生そばにいたいと思える人に出会いたいです。

次回は

大竹さんの紹介で

矢内 栄子さんです。

なな場

マナビランド 生涯学習伝言板

月・日	内 容	場 所
11/18	石川町子ども議会(合併40周年記念事業)	共同福祉施設
11/19	ふくしま駅伝	白河～福島間
11/19	イリヤ・カーラー パイオリン演奏会	農業共済組合ホール
11/23	少年少女ハンドボール教室	総合体育館
11/23	八槻市	南町大通り
12/1	歳末助け合い募金運動(～31日まで)	
12/3	第12回子ども会対抗 ドッチボール大会	総合体育館
12/3	極真会石川道場(空手)大会	町体育館
12/3	石川スケートセンターオープン	母畑レークサイドセンター
12/7	健康講演会	共同福祉施設
12/10	スケート教室開講式	母畑レークサイドセンター
12/17	スポーツ・文化の集い(婦人連絡協議会)	総合体育館
12/17	子どもリーダー研修会	中央公民館

★お問い合わせは、教育委員会・生涯学習係まで。

☎26-2111 (内線413)

文化財紹介

ふるさとの
宝物を探そう



(山橋地区)

村を災いから守ってくれる天王様

板橋地区の茅刈場に、立石公園と呼ばれている小高い山がある。

この石は、地上から見えるだけで高さが約3メートル横4メートルの花崗岩の巨石である。また、この近

この公園の中に「立石」と呼ばれる大きな石がある。これは、徳川時代末期のころ、竹貫三河守が当地を巡視したとき、路傍の大きな奇石を見て「立石」と命名したことから名づけられたといわれている。

この石は、地上から見えるだけで高さが約3メートル横4メートルの花崗岩の巨石である。また、この近くに天王様と呼ばれる神様が祭られている。これは、あらぶれの神、災いの神などで、当時の人々は、このような強い神様がいるのだから疫病や農産物に被害を及ぼす悪いものなどが、自分たちの村には入ってこないといわれている。



▲村を守る天王様

いう願いを込めて祈りたてまつられたものであり、八雲(ヤクゴ)天王、津島天王、祇園天王などの名で呼ばれている。現在でも、10月1日の地区のお祭りや元日には、お米や赤飯お餅などが供えられている。

ほのぼの 二人三脚



佐久間 繁吉さん(69歳)
キミさん(71歳)

住所：石川町字北町22

このコーナーでは、金婚式（結婚50年）を迎えられたご夫婦を紹介していきます。

★

★

◆お子さんは何人ですか

子供は5人授かり、孫は5人、ひ孫も1人になりました。

◆結婚されて50年、思い出を聞かせてください

繁吉さん 戦争当時は、父親が板金屋をやっていたので矢吹町や仙台などで飛行場造りをやっていました。戦後は物不足で、トタンが配給だったので思うように仕事ができませんでした。町内では八幡神社や太子堂などを手がけたことが思い出に残っています。

キミさん 結婚した当時は、戦後の物不足で毎日が大変でしたね。また、家族が多いときには、職人さんを含めて23人もいたので、畑を借りて野菜を作り、1升のご飯を薪で炊いていたんですよ。

◆お二人の楽しみは何ですか

繁吉さん 軍鶏を50羽飼っているの、それを育てることが楽しみです。

キミさん 民謡やカラオケを長寿会の皆さんと楽しんでます。

◆石川町の一番好きなところを教えてください

キミさん 今出川の両岸に咲く桜並木は、とてもすばらしいと思います。これからも大切にしたいですね！

◆町政に望むことは何ですか

繁吉さん 町庁舎の建設場所として、町民グラウンドがあげられています。町民グラウンドは残して欲しいと思います。また、石川町のお土産品の開発もして欲しいと思います。

ん
み
広

食改だより

～しっかり摂ろうね カルシウム～

9月に骨粗鬆症予防教室を開き申し込みのあった方を対象に、骨密度の検査を行いました。骨密度が低くて驚いていた若い人もいました。年齢によって骨の量は変化しますが、骨量のピークは30歳で、その後は年齢を重ねるとともに減少してきます。

そこで、今回は手早く簡単につくれ、すごくおいしい、とっておきメニューをご紹介します。お料理初心者でも大丈夫。

ちょっとお腹がすいたときなどに、作ってみませんか…。

和風リゾット

お茶漬け感覚でいただける、さっぱり味。

材 料：1人分

A [ごはん半ぜん／牛乳1/2カップ (100ml)／和風だしの素小さじ1/2／しょうゆ小さじ1/2 鮭 (缶詰) 20～30g] みつ葉少々

作り方

①器にAを入れてまぜ、電子レンジで1～2分加熱する。②①に、1cmの長さに切ったみつ葉を飾る。



夏の底から声を出し
いきいき人生を
私たちは「母煙詩吟の会」は、平成4年11月に会員14人で発足しました。
練習は毎月第二と第四木曜日の午前中に母煙地区公民館で、岡部

良先生に楽しくご指導をいただいています。
私たちの会は、あくまでも会員の親睦を深めることを目的にしています。また、吟詠をすることで健康を維持し、生涯現役で生活するために活動を行っています。夏の底から声を出すというのは、体がスツキリするような感じで、練習日がくるのを会員はとても楽しみにしています。
始まったばかりのころは、初心者ばかりで心もとない吟詠でしたが、先生の指導と会員の努力で、今では地区の敬老会や老人クラブの芸能祭などで発表するまでになりました。

これからも、どんどん新しい会員の方に加入していただいて、いきいき人生を送るために、詩吟を楽しみたいと思っていますので、皆さんもぜひおこしくください。



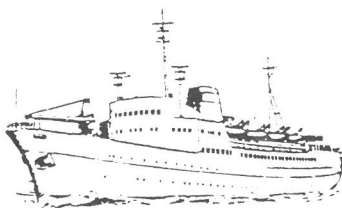
▲楽しみながら練習する会員の皆さん

平成7年度国内体験航海

B&G「少年の船」の参加者募集

B & G財団では、体験航海と海洋性スポーツ等の研修を通じて、規則正しい団体生活のもとに協調と連帯の精神と豊かな人間性を養う目的で、下記により「少年の船」を実施します。

参加を希望される方は、お早めに申し込みください。



記

【対 象】 小学4・5・6年生及び中学生の男女

【募集人員】 2名 (定員になり次第締め切ります)

【参加費】 75,000円

【実施期間】 平成8年3月26日(火)
～4月1日(月)6泊7日

【渡 航 先】 沖 縄

【募集期間】 11月15日(水)～12月15日(金)まで

【申し込み先】 石川町大字母畑字梅木入71-8
(財)母畑レークサイドセンター

※詳しくは、
母畑レークサイドセンター運営協会(☎26-3986)
におたずねください。

町民憲章

1. 自然と文化を愛し
豊かな町をつくりましょう
1. 親切と勤労をむねとし
住みよい町をつくりましょう
1. 歴史と未来をみつめ
誇りある町をつくりましょう

12月3日

スケートセンターがオープン

母畑レークサイドセンターの
スケート場がオープンします。

- ☆期 間 12月3日(日)～平成8年3月3日(日)
- ☆時 間 (平 日) 10時～19時
(土・日・祝祭日) 9時～19時
※年末年始
(12月29日～1月3日は10時～17時)
- ☆休館日 毎週月曜日(冬休み期間中を除く)
- ☆料 金 小学生以下 300円
中学生 410円
高校生 510円
大 人 820円
- ☆くつ代 300円

詳しくは、母畑レークサイドセンター
(☎26-3986)へおたずねください。

年金コーナー

ご存知ですか？

第三号被保険者未納期間の届出

第三号被保険者



「扶養されている奥さん」とは、
ご主人の健康保険証の被扶養者名
欄に名前が書かれている奥さんで
す。夫が扶養になっている場合も
同様です。

厚生年金と共済組合の加入者 平成九年三月までに届出すれば
の被扶養配偶者で、二十歳以上 昭和六十一年四月以降の第三号
六十歳未満の方は、国民年金第 被保険者に該当したすべての期
三号被保険者となります。 間に算入されることになってい
ます。

例えば、厚生年金に加入の夫
に扶養されている場合は、妻は
第三号被保険者になり、厚生年
金に加入する妻に夫が扶養され
ている場合には、夫が第三号被
保険者となります。第三号被保
険者は、国民年金に届出がされ
ていないと、この間は保険料納
付期間となりませんので、将来
年金を受け取る時受給額が少
なくなります。

ところで、昨年の国民年金法
の改正により、過去に届出がさ
れていなかったり遅れたために
第三号被保険者期間のうち、未
納となっていた期間について、

この機会に、自分の届出を確
実なものにしましょう。
第三号被保険者の特例届出は
既に年金を受給している皆さん
や六十五歳を過ぎていても受給
資格期間が足りないため、年金
を受けられない方も対象になり
ます。

なお、第三号被保険者の保険
料は、配偶者の加入する制度全
体として負担する仕組みです。か
ら、第三号被保険者自身が払っ
たり配偶者の給料から天引きさ
れたりするものではありません。



町民の皆さんのご協力
ありがとうございました

シリーズ ⑦

国体成功のエネルギーを
町勢発展の原動力に：
第50回国体・石川町実行委員会
会長 鈴木 信夫

友よほんとうの空にとべろを
スローガンに開催いたしました、
第50回国体大会ハンドボール
競技会は、町総合体育館をメイン
に10月15日から5日間、全国各地
から激戦を勝ち抜いた48チームの
選手、監督をはじめ競技役員の皆
さんをお迎えし、盛会に開催する
ことができました。競技会の運営

につつましては、関係機関団体は
じめ約六百人の町民協力員、さら
に集団演技、式典音楽に参加いた
だいた小・中・高校生、一般町民
の皆様など、町民総参加により万
全なる対応をいただきましたこと
に対し、心から敬意と感謝を申し
上げます。

本町は、昭和61年の国体誘致か
ら約10年間にわたり、石川町実行
委員会をはじめ、関係各位の積極か
つ献身的なご尽力の結果、成年男
子2部・少年女子は優勝、少年男
子も3位という立派な成績を収め

るなど、名実共に成功裡に終了す
ることができました。また、福島
県は天皇・皇后杯に輝き、有終の
美を飾ることができました。

この大会を振り返るに町民の英
知を結集し、総参加で対応すれば
全国に誇れる競技運営が成し遂げ
られることを、町民等しく再確認
できたものと思います。

国体の成功が、石川町の発展の
起爆剤になることを確信し、今後
更なる御精進をご祈念申し上げ
「ふくしま国体」開催のお礼とい
たします。



外模保育所 ⑩4



ひろと
小松洋人くん
(5さい)



散歩で見つけたコスモスと虫たち



みかこ
遠藤実可子ちゃん
(5さい)

今月の納期

固定資産税 (3期分)

国民健康保険税

(5期分)

国民年金 (11月分)

※11月27日までに

納めましょう!

この社会あなたの税がいきている



▼第50回ふくしま国体は、福島県
選手の大活躍で天皇杯を獲得。天
候にも恵まれ、成功のうちに終了
することができました。石川町で
も10月15日から19日までの5日間、
連日たくさんの方が総合体育館を
訪れ、鍛えぬかれた選手のプレー
に大きな歓声がこだまし、選手と
観客が一体となって大会を盛り上
げている様子がとても印象的でした。
特に決勝戦で勝ったチームと
負けたチームが流す涙のシーンが
レンズを通して、熱く伝わってき
ました。厳しい練習に耐えてきた
選手、大会を成功させようと協力
してくれた町民の皆さん、本当に
ご苦労さまでした。

編
集
後
記

